

るため、実践型の訓練を

実践型の防災訓練

「防災拠点訓練」「避難所訓練」など、一人ひとりが被災した状況をイメージし、災害時にどのような対応をしなければならないのかを自ら考え、行動することで学ぶ、実践に則した訓練です。



総合防災訓練開催

いつ起こるか分からない地震に備える

4 避難所訓練

災害時、避難所の運営は避難をした方が行います。今回の訓練では、実際の避難所となる体育館で、地域の方による避難者の受け付け、居住スペースづくり、炊き出しなどを行います。



5 帰宅困難者等対策通信訓練

駅前に滞留する帰宅困難者の安全を確保するための訓練です。市内主要駅と市災害対策本部が、被害状況や、交通機関の運行状況、帰宅困難者の情報収集訓練を行います。



6 医療救護活動合同訓練

東京歯科大学市川総合病院敷地内で関係機関が参加し、医療救護所の訓練を行います。

また、災害時の重症者搬送を想定したドクターヘリの離着陸訓練も行います。



7 災害ボランティアセンター立ち上げ・運営訓練

災害時に社会福祉協議会が開設する、災害ボランティアセンターの活動訓練です。訓練では、災害ボランティアセンターの立ち上げ、避難所へのボランティアの派遣や市災害対策本部との間での無線による情報収集などを行います。



1月17日(土)

参加・見学について

市川、曾谷、信篤、福栄小学校の4会場で行う、**2**初動訓練と**4**避難所訓練に参加、見学してください。訓練は、午前9時から開始しますので、上記会場に直接お越しください。

《注意》

- ・避難所訓練に参加する方は、スリッパなどの上履きを持参。
- ・ペットの同行避難(飼い犬に限る)を希望する方は、ケージ持参などの説明をしますので、事前にお問い合わせください。
- ・天候による訓練の実施、中止は、当日午前6時から☎333-3636または☎0180-994-889でお知らせします。

☎704-0065 地域防災課

不登校を経験した人
たちのための高校です

入学試験は面接だけ
その人の人柄を見て判断してくれます

たちはな

橘 学院高等部

入学についてご相談したい方はご連絡ください
電話:047-324-2889

〒272-0021 市川市八幡 3-3-2 J 403
グランドターミナルタワー本八幡
JR本八幡駅・京成八幡駅・都営本八幡駅
徒歩1分

通院が困難な方でもご安心下さい!!

お身体の痛みを和らげ、機能回復を
目指したマッサージを行っています。

医師の同意に基づき、
健康保険が使える
出張マッサージです。

まずは『体験マッサージ』
をお申込み下さい!!
ご相談もお気軽にどうぞ♪

らいふマッサージ治療院市川店
[TEL]0120-978-531
営業日:月~土 9時~18時
[ホームページ]
<http://www.konanss.jp/>

緊急情報などが届きます
市川市メール
情報配信サービス

携帯電話やパソコンで登録すると、災害発生時の緊急情報などが市から配信されます。
info@city.ichikawa.chiba.jp
または下記のQRコードから空メールを送信し、送られてくるメールに記載されているURLをクリックしてください。配信項目は、登録後に変更できます。メールの受信には通信料がかかります。



☎704-0285 広報広聴課

e-モニター制度に登録を

e-モニター制度(eモニ)は登録制のアンケート制度です。登録者にメールで市からアンケートや情報を発信し、みなさんの声を広く集めて市政に反映していくものです。登録は無料。ぜひ参加してください。(平成26年11月末日現在の会員数6,891人)

■登録できる方

国内在住の16歳以上の方で、インターネット及び電子メール(スマートフォン携帯電話を含む)の使用が可能な方

■登録方法は2通り

◎市川市 eモニ で検索

<https://www.e-moni.city.ichikawa.chiba.jp/em/>

◎QRコードを読み取り、

em@e-moni.city.ichikawa.chiba.jp

に空メールを送信。

(事務局から会員登録のためのメールをお送りします。)

☎393-6530 eモニ事務局

(情報政策課内)



いざというときに身を守

マグニチュード7級の首都直下地震の30年以内の発生確率は、70%と想定されています。もし、この大地震が発生した場合、あなたはどのような行動をとるでしょうか。

災害時に落ち着いた行動をとるためには、平常時から災害時をイメージし、自ら考え、行動し、学ぶ訓練が必要です。

市では、地震に備え、市内39の小学校を地域の防災拠点とする取り組みを進めています。今回、拠点の小学校や駅などの会場で、地域の方、事業者、ボランティア団体、学校職員、市職員などが連携した防災拠点訓練、避難所訓練などの実践的な訓練を行います。

これまでの防災訓練

初期消火や救出救護訓練といった初動訓練を、「見て、体験する」ことで学ぶ、体験型の訓練でした。

実践型の7つの訓練

1 シェイクアウト訓練

どこでもできます。地震から身を守るための「3つの安全行動」を約1分間行います。午前8時30分に防災行政無線で開始の合図を放送しますので、各自で行動をお願いします。



DROP!

まず低く



COVER!

頭を守り



HOLD ON!

動かない

※屋外では、ビル、樹木、電柱などから離れた場所を探して、安全行動をお願いします。

2 初動訓練

消防団と地域の自主防災組織による救助救出、消火器やバケツリレーによる消火などを行います。阪神淡路大震災では、助かった人の95%が地域の協力により救助されたと言われています。この訓練は、人命を救う大変重要なものです。



3 防災拠点訓練

地域の方と学校職員、市職員が連携して行います。地域の被害状況などの情報収集や市災害対策本部への無線による交信、避難所の開設や運営の支援などを行います。



「防災拠点」とは

市が進めている地域防災体制であり、小学校を拠点とした地域の方、学校職員、市職員などが連携した組織です。この拠点では、平常時から関係者が集まり、地域防災力を高める活動を行います。

市職員

協働

学校職員

地域の方